

文化施設の今後について

提供年月日	令和6年2月20日
担当部課	政策調整部文化施設再編推進室 市民部文化スポーツ振興課 野洲文化ホール
担当者	(再編推進室) 櫻本・四谷
連絡先電話番号	077-587-6039

行財政改革の一環として検討を進めてきた文化3施設の再編に関し、10月20日における都市基盤整備特別委員会での報告および10月24日、28日に開催した野洲駅南口周辺整備等に関する市民懇談会においての意見を踏まえ、以下のとおり方向性を決定し、今後の各施設の対応について報告します。

文化施設の集約先について

シライシアター野洲1箇所に集約する。

・市内3箇所に設置されている文化施設に関しては、駅前シライシアター野洲が他の2施設（文化小劇場、さざなみホール）と比べ公共交通機関の活用が見込めるなど利便性が高く集客において極めて有利であること、市内大規模イベントの継続性の確保、また、市民からの存続の要望が極めて強いこと等から、シライシアター野洲1箇所に集約することとします。

各文化施設の今後の対応について

1. シライシアター野洲

・当施設に関しては建設後約40年が経過しており、今後、引き続き施設の活用を図るには施設の老朽化が著しいことを踏まえた対応が必要になりますが、市が先に実施した老朽化調査（以後、簡易調査）を踏まえ、大規模改修により対応することとします。

・簡易調査によれば大規模改修に要する経費は20億強でしたが、物価の変動を反映しておらず、また、今後、大規模改修の内容も基本設計・実施設計を進める中で検討していくことから、事業費が変動することを想定しており、その動きは随時公表していくこととします。

（スケジュール）

R6年度 基本設計、実施設計、休館（3月）

R7年度 改修工事

R8年度 改修工事

R9年度 リニューアルオープン

2. 野洲文化小劇場

・解体のうえ除却。

・当施設の跡地の活用について今後駅前整備の取組の中で検討する。

（スケジュール）

R6年度 解体設計、閉館（3月）

R7年度 解体

3. さざなみホール

・解体のうえ除却。

・当施設の跡地利用については、少子化、人口減少社会の到来といった本市を取り巻く社会情勢を踏まえたまちの魅力を高める必要性への対応、更には、今後の施設の維持管理経費にも配慮を行う中で、こども向け遊具広場が有効と判断し提案を行ったところ、議会・市民からも概ね良好な評価を得たと認識しており、来年度以降、本提案どおりで検討を進めることとします。

（スケジュール）

R6年度 解体設計、閉館（12月）※別途報告

R7年度 解体

さざなみホールの閉館対応について

さざなみホールは、平成4年6月の開館以来約32年の長きにわたり、市民や地域の方々の文化芸術活動の拠点として、幅広い世代に利活用されてきました。

しかし、ここ数年ホールおよび研修棟の空調設備が頻繁に故障し、夏季・冬季については快適に利用いただけない状況となっております。

こうしたことから、文化3施設の集約化方針に従い、令和6年度末での閉館を計画しておりましたが、空調設備の修繕が不可能なことから令和6年12月末をもって閉館します。

なお、野洲文化ホール・野洲文化小劇場については令和7年3月末まで通常営業します。

(1) 閉館日

令和6年12月27日（金）

(2) 閉館理由

文化3施設の集約化方針及び空調設備の不具合による。

(3) 周知方法

市ホームページ、市広報、館内周知チラシなどにより行う。